

日医ニュース

2018. 12. 5 No. 1374

日本医師会
Japan Medical Association

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
電話 03-3946-2121(代)
FAX 03-3946-6295
E-mail www.jma.or.jp
http://www.med.or.jp/

毎月2回 5日・20日発行 定価 2,400円/年(郵税共)



- トピックス**
- 日本医師会・日本歯科医師会 役員意見交換会 …… 2面
 - 厚生労働省の予防接種を巡る対応に厳重抗議と要請を行う …… 3面
 - 平成30年秋の叙勲・褒章受賞者 …… 6面

アメリカ医師会 (AMA) ・ 日本医師会 (JMA) 共同シンポジウム

「国際展開を目指す」

AMA・JMAの新たなジャーナルをテーマに開催



アメリカ医師会 (AMA) ・ 日本医師会 (JMA) 共同シンポジウムが11月2日、約150名の参加の下、「国際展開を目指す AMA・JMAの新たなジャーナル」をテーマとして、日医会館大講堂で開催された。

当日は4題の講演、質疑応答などが行われ、国際的な評価の高い医学雑誌『JAMA』のノウハウを学んだ。

やAIの進化が社会のさまざまな局面に大きな改革を迫り、医療を取り巻く環境が著しい変化を遂げる中で日医が国際社会において担う役割についても更なる展開を図ることとなり、情報発信のため、情報発信の見直しを行った。新たな国際的情報発信プラットフォームとして、ピアレビュー(査読誌『JAMA Journal』)の刊行に至った経緯を説明。

その上で、『JAMA Journal』は、特にわが国の医学研究者にとってその成果を国際社会に向かって発信するための有力な媒体となることを意図しているが、海外の研究者にも広く成果を発表する媒体として受け入れて欲しい」と述べ、日本で初のチャレンジャーとなる英文医学総合ジャーナルが多くの人々に読まれ、引用されることで、国際的な医学の高揚、医療の質の向上等に貢献していくことを期待を寄せた。

続いてあいさつした門田守人日本医学会長は、

1902(明治35)年に設立された日本医学会は現在129学会が加盟しているが、加盟の際、社会医学系以外の学会では、機関誌の定期的な発刊、特に英文誌の発刊が審査条件の一つとなっていることを紹介。各加盟学会の雑誌は専門領域に限られ、『JAMA』や『British Medical Journal』のような医学全般にわたる総合誌がなかったことから、『JAMA Journal』の発刊は非常に意義があるとして、「成長させていけるよう皆さんと一緒に頑張っていく」と述べた。

ハワード・バークナー『JAMA』編集長は、両医師会は医師の代表であり、日米から各国に広められている医学研究の知見についてお互いに学び合うことが重要であると指摘。『JAMA』についても『JAMA Journal』の今後に注目していきたい」とあきびょうした。

続いて、福井次矢『JAMA Network Open』共同編集長／聖路加国際病院院長が座長として「シンポジウム概要」と題し、日本の研究力が低下している現状と、自身が2月に出席し

た『JAMA Network Open』の編集委員会における世界全体を視野に置き大きな目標をもったディスカッションの模様等を紹介。

本シンポジウムは、『JAMA Journal』を『JAMA』の責任者がノウハウを披露

「講演1」『JAMA』の過去と現在」では、バークナー『JAMA』編集長が、AMAの代表的出版物である『JAMA』について、1883年創刊の総合医学雑誌で、年間48回発行されていること、編集上の独立性を保持していること、冊子からオンライン、ソーシャルメディア、更にポッドキャストや動画等の新しい技術も活用していること等を紹介。また、『JAMA Network Open』、『JAMA』と専門誌12誌がネットワークを形成し、継続的な質の改善とテクノロジーの革新に取り組んでいることなどを解説した。

「講演2」『JAMA Network Open』の論文投稿の奨励」として、①著者への働き掛け②著者に対するサービ

「講演3」『JAMA Network Open』の論文投稿の奨励」として、①著者への働き掛け②著者に対するサービ

「講演4」跡見裕『JAMA Journal』共同編集長／杏林大学名誉学長による座長の下、五十嵐隆『JAMA Journal』副編集長／国立成育医療研究センター理事長は、『JAMA Journal』発行の目的と戦略」と題して講演。前身である『A

「講演5」『JAMA Network Open』の論文投稿の奨励」として、①著者への働き掛け②著者に対するサービ

「講演6」『JAMA Network Open』の論文投稿の奨励」として、①著者への働き掛け②著者に対するサービ

「講演7」『JAMA Network Open』の論文投稿の奨励」として、①著者への働き掛け②著者に対するサービ

「講演8」『JAMA Network Open』の論文投稿の奨励」として、①著者への働き掛け②著者に対するサービ

「講演9」『JAMA Network Open』の論文投稿の奨励」として、①著者への働き掛け②著者に対するサービ

「講演10」『JAMA Network Open』の論文投稿の奨励」として、①著者への働き掛け②著者に対するサービ

日医は、日本医学会の共同事業の一つとして、9月28日に英文医学総合ジャーナル『JAMA Journal』を創刊(本紙第1372号既報)。一方、国際的な評価の高い医学雑誌『JAMA(The Journal of the American Medical Association)]を発行するAMAでは、今春、初のオープンアクセスジャーナル『JAMA Network Open』を創刊した。

本シンポジウムは、両

また、横倉会長は、①日医は1958(昭和33)年に、当時の日本の医療をアジアを中心として途上国に伝えることを目的に、『Asian Medical Journal (AMJ)』を創刊、2001年からは、『MAJ (Japan Medical Association Journal)』と名称変更して、日本の医療や日医の国際保健に関する取り組みなどを英文で掲載してきた。IT田守人日本医学会長は、

投稿論文 受付中

「JAMA」の責任者がノウハウを披露

本年9月に創刊した英文医学総合ジャーナル『JAMA Journal』[日医のウェブサイト (http://www.jmaj.jp) で全文無料で読むことが可能]では、ピアレビュー誌として広く投稿論文を募集しています。

対象領域は、臨床医学、基礎医学、公衆衛生など、医学に関する全領域で、医療政策やオピニオン等の投稿も受け付けています。

投稿方法など、問い合わせは日医国際課 (mailto:jmaintl@po.med.or.jp) まで。

日本医師会・日本歯科医師会役員意見交換会

医療のICT化、大規模災害時の連携推進を目指して



述べた。

横倉義武会長は、「日頃からいろいろなことで、堀会長にはご相談させて頂いている。口腔管理は健康を保つ上でも非常に重要なことと考えており、今後も協力をお願いしたい」とあいさつした。

引き続き、中川俊男副会長が、三師会・四病院団体協議会で取りまとめた「控除対象外消費税問題解消のための新たな税制上の仕組みについての提言」のポイントや、提言公表後の動きなどについて説明。年末の税制改正大綱の取りまとめに向けて、一層の協力を求めた。

日本医師会・日本歯科医師会役員意見交換会が10月30日、日医会館で開催された。

小玉弘之常任理事の司会で開会。冒頭あいさつした堀憲郎日歯会長は、「横倉会長の強いリーダーシップの下、『受動喫煙防止対策の強化』『控除対象外消費税問題解消のための提言』の取りまとめなどを行うことができた」として、感謝の意を示した上で、「本日の会が実りあるものとなるよう、期待している」と

「医療分野のICT」については、まず石川広己常任理事が、「医療分野専用のネットワークの構築を目指している」と「次世代医療基盤法」に規定された認定匿名加工医療情報作成事業者と

なるべく、準備を進めていること」などを報告。牧野利彦日歯副会長が、日歯会員の中にはオンライン資格確認等を導入するための費用負担に懸念をもつ者がいるとしたことに対しては、「費用負担については、日医からも厚生労働省に問題提起している」と述べ、理解を求めた。

佐藤保日歯副会長は、がん患者に対する周術期の口腔健康管理における医師、歯科医師の連携の重要性を指摘。羽鳥裕常理事は、「地域の歯科

医師が医療機関に出向いて口腔健康管理を行うことも、ぜひ検討して欲しい」とするとともに、今後の認知症予防への関与も要望した。

シュティルハルト赤十字国際委員会事業総局長が紛争下における医療活動について講演



ドミニク・シュティルハルト赤十字国際委員会（ICRC）事業総局長

ハルト赤十字国際委員会（ICRC）事業総局長が10月31日、日医会館を訪れ、「紛争下における医療活動の現状と課題—ICRCが見た現実と対応を中心—」をテーマとして講演を行った。

ICRCは、戦争や武力紛争及びその他暴力を伴う事態によって犠牲を強いられた人々に対して、人道的保護と支援を行う、公平に中立かつ独立した機関であり、シュティルハルト事業総局長は、世界80カ国以上で展開している人道支援活動の最高責任者を務めている。

講演会は、松原謙二副会長の司会で開かれた。冒頭あいさつした横倉義武会長は、4月にスイスのジュネーブにあるICRCの本部を訪問し、世界医師会（WMA）とICRCとの連携を確認したこと等を報告。「シュティルハルト事業総局長からは紛争下における医療活動について、多くの日本の医療関係者にも

来年1月15日までに医師届出票の提出を

医師は、2年に一度、12月31日現在における氏名、住所その他の事項を、翌年1月15日までに、住所地の都道府県知事を経由して厚生労働大臣に届け出ることが義務付けられています（医師法第6条第3項）。本年は届出の年に該当し、平成30年12月31日現在の状況を、平成31年1月15日までに保健所に報告する必要があります。今年10月に医師届出票が一部改正され、①勤務状況②従たる従事先の件数③分娩の取り扱いの有無④出身地⑤メールアドレス—についても併せて報告することになりました。これからの日本の医療を考えるに当たり、大切な統計資料となりますので、お忙しいところ恐縮ですが、必ず医師届出票の提出をお願いします（現在医療に従事していない場合も届出の対象です）。届出票の入手は、最寄りの保健所までお問い合わせ頂くか、厚生労働省ホームページからもダウンロード可能です。提出先は、原則として「住所」を管轄する保健所ですが、「主たる従事先」を管轄する保健所でも差し支えありません。なお、届出を行わない場合、50万円以下の罰金とされており、「医師等資格確認検索システム」（https://licenseif.mhlw.go.jp/search_isei/）にも氏名等が掲載されませんので、十分ご注意ください。【参照】厚生労働省ホームページ https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/tp181016.html

引き続き行われた講演の中で、シュティルハルト事業総局長は、①紛争地域の人々に直接的な支援を行うため、1万8000人のスタッフを派遣している②医療的な支援としては、身体的なものばかりでなく、心理的なケアも行っている—ことなどを説明。この数年、救援に向かう地域では、

「紛争が長期化し、当事者も複数になる」等の変化が見られるとし、その対応や市民のヘルスケアへのアクセスを確保するため、病院全体を支援するとともに、3802にも及ぶ武装グループとの関係を維持しているとした。また、武装勢力の医療機関に対する攻撃が最大の課題になっていると指摘。「この現実を世界で注目してもらうために、WMAと協力関係を築いたことは大変意義がある」と述べた。

松原副会長、釜沼常任理事

厚生労働省の予防接種を巡る対応に 嚴重抗議と要請を行う

松原謙二副会長と釜沼敏常任理事は11月9日、日医会館で宮本真司厚生労働省医薬・生活衛生局長らと面談を行い、乾燥BCGワクチンを溶かす生理食塩液から微量のヒ素が検出された問題に対する厚生労働省の対応について、嚴重な抗議を行った(写真上)。

松原謙二副会長と釜沼敏常任理事は11月9日、日医会館で宮本真司厚生労働省医薬・生活衛生局長らと面談を行い、乾燥BCGワクチンを溶かす生理食塩液から微量のヒ素が検出された問題に対する厚生労働省の対応について、嚴重な抗議を行った(写真上)。

松原謙二副会長と釜沼敏常任理事は11月9日、日医会館で宮本真司厚生労働省医薬・生活衛生局長らと面談を行い、乾燥BCGワクチンを溶かす生理食塩液から微量のヒ素が検出された問題に対する厚生労働省の対応について、嚴重な抗議を行った(写真上)。

松原謙二副会長と釜沼敏常任理事は11月9日、日医会館で宮本真司厚生労働省医薬・生活衛生局長らと面談を行い、乾燥BCGワクチンを溶かす生理食塩液から微量のヒ素が検出された問題に対する厚生労働省の対応について、嚴重な抗議を行った(写真上)。

松原謙二副会長と釜沼敏常任理事は11月9日、日医会館で宮本真司厚生労働省医薬・生活衛生局長らと面談を行い、乾燥BCGワクチンを溶かす生理食塩液から微量のヒ素が検出された問題に対する厚生労働省の対応について、嚴重な抗議を行った(写真上)。

松原謙二副会長と釜沼敏常任理事は11月9日、日医会館で宮本真司厚生労働省医薬・生活衛生局長らと面談を行い、乾燥BCGワクチンを溶かす生理食塩液から微量のヒ素が検出された問題に対する厚生労働省の対応について、嚴重な抗議を行った(写真上)。

松原謙二副会長と釜沼敏常任理事は11月9日、日医会館で宮本真司厚生労働省医薬・生活衛生局長らと面談を行い、乾燥BCGワクチンを溶かす生理食塩液から微量のヒ素が検出された問題に対する厚生労働省の対応について、嚴重な抗議を行った(写真上)。

松原謙二副会長と釜沼敏常任理事は11月9日、日医会館で宮本真司厚生労働省医薬・生活衛生局長らと面談を行い、乾燥BCGワクチンを溶かす生理食塩液から微量のヒ素が検出された問題に対する厚生労働省の対応について、嚴重な抗議を行った(写真上)。

松原謙二副会長と釜沼敏常任理事は11月9日、日医会館で宮本真司厚生労働省医薬・生活衛生局長らと面談を行い、乾燥BCGワクチンを溶かす生理食塩液から微量のヒ素が検出された問題に対する厚生労働省の対応について、嚴重な抗議を行った(写真上)。



松原副会長は、「今後、規格外などが発覚した場合、速やかに情報提供するべきであり、今回のような対応は誤っている」として遺憾の意を表明。特に、予防接種ワクチンは健康な人に実施するものであり、予防接種で健康被害があつてはならず、通常の医薬品よりも更に慎重に扱っているとした上で、「最終的には現場の医師の責任が問われる。問題があれば直ちに連絡するべきである」と強く抗議した。

また、釜沼常任理事は、「今回の文書提出は、本年7月以降、風しんの届出数が増加していることに加え、地域医師会からはMRワクチンの不足を指摘する声も聞かれ、このままでは更なる感染拡大が懸念されることから、抜本的な対策を求め、早く対応を講じてほしい」と訴えた。

風しんが流行しています

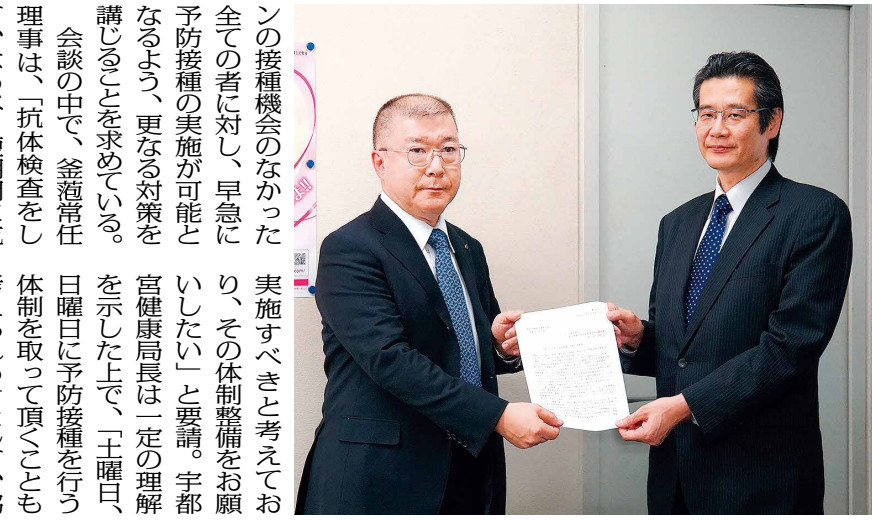
ご活用下さい!

ご活用下さい!

風しんは、ワクチンを接種することで防ぐことができる病気です。今、日本では30-50歳代の男性の約2割が風しんに対する免疫をもっていないと言われています。これらの方を含めて、これまでにワクチン接種を受けていない方は、家族や職場の方につまずきないようにするために、早めに接種を受けましょう。接種を希望される方は、お気軽にご相談ください。

健康の森「風しん」

ポスターは日医ホームページ (<http://www.med.or.jp/people/health/kansen/001484.html>) からダウンロードできます。



これに対して、釜沼常任理事は、「緊急事態でもあり、日医としても会員の先生方の協力を得て体制を整えたい」とする。同時に、「その際には、万が一、予防接種後に体調不良、健康被害が出た場合に備え、地域でバックアップができるような診療体制を整えておくことも大事になる」とした。

また、両者は、MRワクチンが増産され、体制が整った時点で、できるだけ多くの方に予防接種を受けてもらえるよう、各種キャンペーンを行う必要があるとの考えで一致。釜沼常任理事は、毎年3月上旬に実施している「子ども予防接種週間」の経験を生かすことを求めた。

子育て支援フォーラム in 福島

子育て支援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して「子育て支援フォーラム in 福島」を開催



成2年度から増加の一途をたどり、昨年度は13万件を超え、過去最多であったが、虐待の実態は把握し切れていないのが実情である」とした上で、「虐待の根底にある社会的な要因に目を向け、社会全体で強い危機感をもって早期に把握し、適切な対応を行うことが求められている」と述べた。

報告

次に報告では、藤森敬也公立大学法人福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座教授/放射線医学県民健康管理センター妊産婦調査室長が、「平成28年度『妊産婦に関する調査』結果概要の報告」と題し、県内の妊産婦を対象とした調査等について説明。東日本大震災以降の分娩数の推移、中絶・自然流産を含む妊娠の現状や先天異常の発生状況等、フォローアップの追跡調査等について触れた上で、今後の課題として、「低線量放射線被ばくの客観的な科学データを示すことで『安心』につなげる機会に

「子育て支援フォーラム in 福島」が11月10日、日医、SBI子ども希望財団、福島県医師会の共催により、福島県郡山市内で開催された。フォーラムは、新妻和雄福島県常任理事の司会で開会。冒頭あいさつで横倉義武会長(平川俊夫常任理事代読)は、「児童相談所に寄せられる児童虐待の相談対応件数は、統計を取り始めた平

ていくことが重要になる」との考えを示した。

基調講演

引き続き行われた基調講演(座長・平川常任理事)では、吉村泰典慶應義塾大学名誉教授/福島県立医科大学副学長/新百合ヶ丘総合病院名誉院長/少子化対策、子育て支援担当内閣官房参与が、「少子高齢化社会における産後ケアの重要性」と題して講演した。

厚生労働省や国立社会保障・人口問題研究所の調査にみる少子化の進行と人口減少社会の到来等について説明した上で、少子化の要因となるデータを示し、出生率の低下は有配偶率の変化が影響していると指摘。

また、少子化対策の好事例を紹介するとともに、子ども・妊産婦の死因や児童虐待とその背景等について報告し、「安心して子育てや教育ができる成熟した社会の実現を目指すためには、産前、産後のケアが大切となり、経済的基盤や雇用の安定と共に、子育て環境の充実がわが国の喫緊の課題である」と強調した。

シンポジウム

その後のシンポジウム(座長:本田任福島県産婦人科医会長、竹内真弓福島県小児科医会長)では、まず、加賀美尤祥社会福祉法人山梨立正光生園理事長/山梨県立大学人間福祉学部特任教授が講演した。

「『日の子ども家庭と社会的養護の現状と課題』保護から養育へのパラダイムシフト」と題して、子ども家庭の現状から社会的養護の内容とその時代背景を概説。

平成29年4月1日施行の改正児童福祉法では、児童を権利の主体とする抜本的な見直しが必要と、新しい社会的養育ビジョンが示されたことを

報告するとともに、自身の「地域子ども家庭支援システム構想」の内容を紹介した。

奥山眞紀子国立成育医療研究センターこころの診療部統括部長は、「妊娠からの虐待予防と虐待ゼロを目指して」をテーマに講演し、虐待の死亡事例の検証により、望まない妊娠の多さ等、妊娠期の問題がクローズアップされていること、発達障害傾向にある母親への早期介入がその

後の虐待的行動の予防として重要と考えられることを説明。その上で同部長は、「妊娠期・周産期からの虐待予防のためにはさまざまなアイデアが必要であり、胎児虐待を見逃さない方法等の対策も不可欠であるが、『子どもは胎児期から社会で育てる』という意識をもつことが何より重要になる」と述べた。

滝田昌宏郡山市子ども部子ども支援課長は、「郡山市における子育て世代包括支援センター事業の取組み」について講演し、平成29年4月から子育て世代包括支援センター事業として、全ての妊産婦、乳幼児を対象に「ニコニコサポート事業」を開始したことを報告。子育て支援が虐待予防につながるとし、地域全体で子育て世代を応援していきけるよう理解を求めた。

日医治験促進センター提供のシステムが

特別功労大賞を受賞



ドコンソーシアム(以下、ASPIC)主催の「第12回ASPIC IOT・AIクラウドドワード2018」において、ASP・SaaS部門(統一書式等)を電磁的記録として保管すること、社会・業界特化系分野の特別功労大賞を受賞した。

日医治験促進センターが運営する「治験業務支援システム カット・ドゥ・スクエア」が、特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoTクラウドP・SaaS/IaaSの特別功労大賞を受賞した。

ASPICでは、総務省などの後援により、国内で提供されているASP・SaaS/IaaSの電子署名として、医師資格証(HPKI)を用いることも可能となり、現在、全国の医療

機関約1200施設を含む約1720の組織で利用されている。同センターでは、システム普及の一助となればとの考えの下、平成25年より本アワードに参加。各賞を受賞してきたが、今回が最も高い評価となった。担当の長島公之常任理事は、「今回、受賞した賞は他の分野にはなく、特別の評価を得たものと考えており、大変うれしく思っている。本賞の受賞を励みとして、今後もシステムの向上・普及を図り、わが国における治験実施基盤の整備を進めていきたい」としている。

南から北から

滋賀県
滋賀県医師会報
第837号より
クルマの話
井上 香里

突然ですが、これを読んで頂いている方の中で、車のお好きな方はどのくらいいらっしゃるのでしょうか。ドクターって車好きな方、多いですよね。最近、乗り換えとかされました??? 私はここ2年ほど3回は乗り換えましたよ。ただし、ベビーカーですけどね。
わが家には3歳の兄妹の双子がいます。育児でよくある話なのですが、彼らが2歳になった時、ベルトの締めつけが嫌なのか、ベビーカーを嫌がり出しました。でも、長い距離を歩けないので、最後は抱っことなります。一人だったら抱っこひもで大丈夫なのですが、二人だと、そうもいかない。彼らが嫌がらず乗ってくれる乗り物……と散々考え、たどりついたのが「乳母車」!!
え? そんなの今時あるの? 思ったその先生、あるんですよ、これが。しかも、結構メルヘンな外見です。でも、あらかじめ言っておくと値段は全然可愛くありません(断言)。

そして使ってみて分かったのですが、乳母車って操作性が悪い! 小回りが利かないんです。しかも、子どもがカゴのどこに乗っているかで重心のかけ方が変わるので、操作にコツがいるんです。親子の連係プレーが必須(注: ちょっと近所に買い物に行くだけです) / でも、いいんです。乗ってくれるなら(悲痛)!!!
結果的には、乗せるとすぐケンカになったため、兄だけが乗り、妹は乗りませんでした。従って、あの高額な双子用オプシヨンは……(涙)。でも、いいんです!!! 乗ってくれたから(悲痛)!!!
ただ、さすがメルヘンな乳母車。同世代のお母さんに「可愛いですね」として、よく声を掛けられました。その時は、「これ結構高いし、操作が大変ですよ」とは言わず、「ありがとございます」(ニッコリ)と答えます。それから、年配のおばさまにも声を掛けられました。「いや、懐かしい。今でもあるんやね」と。

私が小、中学校の時代は、戦争のために食糧不足の時代でした。その頃の生家では商売をやっており、余分な商品を少しずつ農家でお米と交換して、一般の人よりご飯は多めに戴くことができました。
その頃の薄いお粥の味は耐え難く、食糧事情が良くなって、白米のご飯が自由に食べられるようになると、銀シャリのご飯を噛まずに、ぐっと飲み込む感覚が最高と思うようになりました。
ノドの入りの口の味覚は迷走神経が知覚し、舌の前3分の2に分布するのは鼓索神経(顔面神経)、舌の後部3分の1に分布するのは舌咽神経と言われています。私が60年前に解剖学で習ったものと、少し変わったようです。
大きい肉をパクリと飲み込む咽喉の原始的味覚

見るだけでノスタルジィ全開になるよなあ……。幸いにして、わが家の双子は、先日乳母車をほぼ卒業しました。が、きつと乳母車を押ししていた時に感じていた感覚というのは、大なり小なり今後も感じ続けるんだろうなと思っています。今日この頃です。(一部省略)

新潟県
新潟市医師会報
No.559より
お粥は戴きません
横山 芳郎

私は、迷走神経によるものは、戦争のために食糧不足の時代でした。その頃の生家では商売をやっており、余分な商品を少しずつ農家でお米と交換して、一般の人よりご飯は多めに戴くことができました。
その頃の薄いお粥の味は耐え難く、食糧事情が良くなって、白米のご飯が自由に食べられるようになると、銀シャリのご飯を噛まずに、ぐっと飲み込む感覚が最高と思うようになりました。
ノドの入りの口の味覚は迷走神経が知覚し、舌の前3分の2に分布するのは鼓索神経(顔面神経)、舌の後部3分の1に分布するのは舌咽神経と言われています。私が60年前に解剖学で習ったものと、少し変わったようです。

北海道
北海道医報
第1189号より
**愛猫との別れ、そして
三代目**
守屋 至

わが家には、今三代目の猫がいる。振り返ると、何年も家に出入りしていた野良猫を飼いはじめたら、もう飼育歴23年目になる。ちょうど引越することになり、毎日のように出入りしていた野良猫に対してこう言った。
「明日、〇〇時に引越しをするから、その時次の子猫を手に入れたら

よく噛まないものですから、食事はほとんどノド元を通りませ。従ってこんな習慣の人は、体重がモリモリと増加します。よく噛んで食事をしている人は、腸管の吸収が良く、太りそうに見えますが、こういう人はかえって食全体の量が少なく、スマートな人が多いようです。
私は7人兄弟の7番目です。子どもの頃、大家族で一緒に食事をしている時に、早飯をしないという潜在意識があり、こんなノド越しの悪習に陥ったのかも知れません。若い頃は肥満でしたが、80歳を超えた頃からは標準値になりました。
今は、息子の嫁さんの実家が南魚沼の米作農家で、特等の「こしひかり」をたくさん戴いて、老人のノド元を潤しています。

が19年前のこと。今度は飼い方にも馴れ、18歳の天寿を全うしてお別れさせてもらった。いつもは2階で一緒に寝ていた猫が高齢で上って来られなくなり、階下でニャーニャー鳴くため、抱きかかえて連れて来ていた。次第に老猫は階段を降りられなくなり、一緒に1階で眠るようになった。最後には歩行困難となり、寝室まで移動できないとニャーニャー鳴くため、猫様の言うとおりに添い寝をして過ごす羽目になった。
ここまで可愛がることもペットロスどころではななく、やり尽くしたため、もう猫は飼わなくても良いような気がしていた。
葬儀屋さんにお願してからしばらくすると「子猫あげます」の文字が……。つい電話を掛けて……。その後は言うまでもなく今三代目がいる。
我々団塊の世代はどうに還暦も過ぎ、子どもも大きくなり、仕事も若い時のように24時間緊急対応することも無くなり、休日も取れるようになってる現在。この猫は孫みたいなもの。何をして也可愛らしく感じ、甘い甘いおじいちゃんになっている。餌が口に合わないと知るや、すぐに買い替え、首輪に馴れる前からいくつも買ってしまう。遊びは何をさせるか? 箱の中はおもちゃだらけ。おやつは何が好きか? 各種取りそろえ。ところがである。今度の猫は体が弱く、食べ物おいしいものを食べさせたくもかなわない。おもちやで遊ばせたくも、疲れるせいかあまりのってきつけない。おまけに、すぐそばにいるのだが、抱っこが大嫌い! とほほ……。やっと猫とのんびり遊べるようになったと喜んでくると、いつかは抱っこが好きな猫にしてみせる(っ)。
体の弱いツンデレ猫を、これからも可愛がってこへ。

平成30年

秋の叙勲・褒章受章者

政府は、このたび、平成30年秋の褒章受章者ならびに生存者叙勲・賜杯受章者を発表しました。日医会員受章者は次のとおり。(敬称略)

◎瑞宝重光章

- 郡医師会長 吉田真人(元鳥取県医師会 常任理事)
岩尾昌子(秋田県・元鹿角市教育委員会委員長)

◎瑞宝中綬章

- 赤澤修吾(北海道・元函館赤十字病院院長)
今井嘉門(元埼玉県立循環器・呼吸器病センター病院長)

◎瑞宝小綬章

- 安藤義孝(群馬県・元日高病院院長)
小川嘉譽(大阪府・元多根総合病院院長)
栗本藤基(滋賀県・滋賀里病院院長)
嶋田 賢(千葉県・元島田総合病院院長)

◎旭日双光章

- 清水美津子(東京都・元世田谷区医師会長)
角野禎子(神奈川県・元逗葉医師会長)
高階日出男(北海道・元羊蹄医師会長)
竹廣 晃(元香川県医師会副会長)
田郷敏昭(元岩手県医師会常任理事)
寺田茂雄(元高知県医師会副会長)
錦澤 宏(長野県・元千曲医師会長)
豊崎 纏(元徳島県医師会理事)
中村典生(元宮崎市郡医師会長)
新田康郎(元広島県医師会常任理事)
沼崎邦浩(福島県医師会常任理事)
福岡泰隆(熊本県・元鹿本郡市医師会長)
真下延男(元群馬県医師会理事)
舛谷 宏(石川県・元珠洲医師会長)
向野守人(福岡県・元田川医師会長)
山崎博通(栃木県・元上都賀郡市医師会長)
吉岡春紀(山口県・元玖珂

◎旭日小綬章

- 浅野昭一(宮城県・元古川市医師会理事)
安孫子征(埼玉県・元春日部市医師会長)
乾 治郎(大阪府・元和泉市医師会長)
今村正人(元鹿児島市医師会副会長)
上林雄史郎(和歌山県医師会副会長)
大祢廣伸(茨城県・元土浦市医師会長)
落合 勲(愛知県・元小牧市医師会長)
川島真人(大分県・元中津市医師会長)
小関支郎(元富山県医師会副会長)
坂口守彦(奈良県・元大和高田市医師会長)
佐藤 仁(元日本産婦人科医会群馬県支部長)
佐藤敬治(元静岡市清水医

◆藍綬褒章

- 松本幸三(栃木県・元学校医)
道又勇一(宮城県・学校医)
森 務(愛媛県・学校医)
吉川昌三(千葉県・学校医)
渡邊久晃(新潟県・元学校医)
石井芳満(宮崎県警嘱託医)
江口善美(愛知県警嘱託医)
菊田 裕(岩手県警嘱託医)
高田貞夫(元千葉県警嘱託医)
釜淵 敏(日本医師会常任理事)
田中 洋(宮崎県・田中病院院長)
山崎典之(埼玉県・春日部市医師会長)
楊 国隆(秋田労働局地方労災医員)

◆お願い◆

受章者名の掲載には細心の注意を払っておりませんが、万一、お気づきの点がありましたら、広報課までお知らせください。

日医on-line
ニュースポータルサイト「日医on-line」では、定例記者会見の映像等、さまざまな情報をご覧頂けるようになっております。ぜひご活用下さい。
http://www.med.or.jp/nichiionline/



災害時の医療救護の 相互支援のための協定を締結 — 中部医師会連合 —



「日本医師会」の「災害時医療救護」を推進する。山・岐阜・福井・三重・静岡・石川の7県医師会が、管内における災害時の医療救護の相互支援のための協定を締結した。

この協定は、中部医師会連合管内において地震等による大規模災害が発生した際、被災地を支援する活動が実施される。被災地において、被災地医師会単独では十分な医療救護活動が実施できない場合、被災地医師会が支援の開始を判断するとしている。

また、支援の内容は、被災地医師会及びその他管内の情報をできるだけ収集し、日医と連携して、日本医師会災害医療チーム(JMAT)の支援並びに受援活動が効果的に行われるように努めることとしており、所属の県医師会

は、支援要請を受けた場合には極力これに応じるとした。

その他、協定には、各県医師会におけるJMATの編成や、その機能に合った研修の実施など、平時の準備等についても規定されている。

今回の協定は、JMATを活用することを主眼としており、本年9月1日に「JMAT要綱」が改正されて以降、初のブロック単位での協定締結となった。

書籍紹介

産業保健スタッフのための 教え方26の鉄則
イケてる健康教育はインストラクショナルデザインで作る！
柴田喜幸 著

本書は、産業医科大学で教育設計を教える柴田喜幸准教授が、産業保健スタッフのために、必須の教育設計のセオリーを織り込んだ解説書となっている。読み進めることで、ワークを体験しながら、健康教育や労働衛生教育がある。産業保健



タッフが実施する教育では、従業員が職場の安全や健康を守る方法を理解して体得していくことが求められるが、スタッフは必ずしも教えることのプロではないため、健康教育の実施に苦慮している人も多い。

クリスマスプレゼントにどうぞ！ 「日医君」図書カード販売 — 日医会員限定 —

日医では新キャラクター「日医君」の図書カードを作成し、日医会員限定で販売しています。クリスマスプレゼントや各種御礼などに、ぜひご利用下さい。

◆申込方法：郵便、FAXまたはメールにて、郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入し、購入枚数(一人合計10枚以上100枚)

◆価格：一枚500円(税別)



以下、種別(ブルーまたはピンク)を明記の上、確認後となります。

◆申し込み・問い合わせ先：日医広報課
〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
TEL 03-3942-2644
FAX 03-3942-6483 (直通) / 03-3942-6483 (Kouhou)
E-MAIL kouhou@do.med.or.jp

ら、研修を効果的、効率的かつ魅力的に変える研究設計書ができる仕組みとなっている。

さらりと読めるよう、薄くて読みやすくなっており、特にバーチャル研修設計事例の事業場で、産業保健スタッフが直面するシチュエーションを再現したストーリーは、一読をお勧めしたい。

定価 1296円(税込)
発行 中央労働災害防止協会
TEL 03-3452-6401

過去の診療報酬改定の経緯だけでなく、改定内容を理解するための参考資料としても、必携の書籍・CDとなっている。

定価 48600円(税込)
発行 医薬情報研究所
TEL 03-5217-7217

また、第4部では、本書の著者3名が「2025年問題」や「HIV感染者の施設受け入れ拒否」など、高齢社会を踏まえた話題が掲載されており、大変興味深い。

世界に先駆けて超高齢社会となった日本において、感染症診療はどのように行うべきかを考える上でも、大変参考になる一冊と言える。

定価 4320円(税込)
発行 丸善出版
TEL 03-3512-3256

高齢者のための 感染症診療
岩田健太郎 監修

本書は高齢者に対する外来、在宅、施設等における感染症診療のポイントを解説した臨床指南書である。

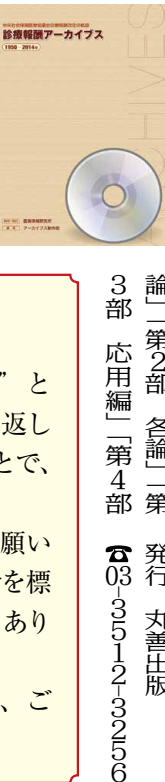
内容は、「第1部 総論」「第2部 各論」「第3部 応用編」「第4部 総論」の4部構成。第2部では、高齢者に多く見られる「呼吸器感染症」や「尿路感染症」などの疾患を取り上げ、その対処法を解説。第3部では外来静注抗生薬療法について詳しく述べられている他、今後の地域医療のあり方についても触れられている。



中央社会保険医療協議会診療報酬改定の軌跡
診療報酬アーカイブス
1950-2014年
アーカイブス制作班 編

本書は、1950年4月の中央社会保険医療協議会発足から2014年4月の診療報酬改定まで、計37回分の改定の動向、診療報酬関連の制度改革などの流れを一冊に整理したものである。

書籍発行後の2016年度、2018年度の改定に関する資料を収録するとともに、関連資料の索引機能を付加したCDを付けて今回、新たに発行された。



⚠️ こんな電話にご注意を！

会員の先生のご尊父より、「日本医師会のカトウ」と名乗る人物から、留守番電話に携帯電話への折り返しの連絡を求めるメッセージが残されていたということで、日医に確認の電話がありました。

日医の職員が、携帯電話に折り返しの連絡をお願いすることはありませんし、当該番号は、医療関係者を標的とした不動産投資会社からのものである可能性があります。

同様の電話があった場合には、取り合わないよう、ご注意ください。

案内



第24回日本医師会認定健康スポーツ医制度再研修会

◆主催：日医
◆後援：厚生労働省、スポーツ庁
◆日時：平成31年1月19日（土）午前10時から午後4時25分
◆会場：日医会館大講堂
◆受講者資格：日医認定健康スポーツ医
◆受講者数：300名
◆受講料：会員6000円（税込）、非会員9000円（税込）
◆申込方法：受講希望者は、①日医ホームページ（http://www.med.or.jp/doctor/ssi/）または、都道府県医師会から申込用紙を入手した上で、必要事項を記入し、直接、日医健康医療第一課宛てに郵送する②日医ホームページからリンクする申込フォームに入力し、送信する—のいずれかの方法で申し込み願いたい。
◆申込締切：12月21日（金）

◆主な講習内容：
・「日常診療における運動療法指導（内科系）」（木下訓光法政大学スポーツ健康学部教授）
・「運動部活動（ガイドラインと熱中症）」（川原貴日本臨床スポーツ医学会理事長）
・「健康経営における運動・健康スポーツ」（岡田）

研究センターロコモフレイルセンター長
◆問い合わせ・申し込み先：日医健康医療第一課
〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
☎03-3942-6138（直）

◆「地域における健康スポーツ医の役割（津下一代日医運動・健康スポーツ医学委員会委員長、あいち健康の森健康科学総合センター長）
・「ロコモとフレイル」（松井康素国立長寿医療）

平成30年度死亡時画像診断（AI）研修会

◆主催：日医、AI学会（予定）、日本診療放射線技師会（予定）
◆共催：日本医学放射線学会（申請中）、日本救急医学会（申請中）他
◆後援：日本医学会（申請中）、放射線医学総合研究所（申請中）他
◆日時：平成31年2月10日（日）午前10時～午後6時40分、11日（月）午前9時～午後3時30分（医師）、午前9時～午後4時（診療放射線技師）
◆場所：日医会館大講堂・小講堂
◆参加対象：医師もしくは診療放射線技師
◆定員：医師、診療放射線技師各100名（2日間を通じて）
◆参加費：無料
◆申込方法：医師の方は、日医ホームページ（http://www.med.or.jp/doctor/ai/）から申し込み願いたい。

◆「死亡時画像診断（AI）における基本事項」「死亡時画像診断（AI）における法令・倫理」「死亡時画像診断（AI）における医療安全対策・感染対策」「死亡時画像診断（AI）に関する救急医学」「死亡時画像診断（AI）に関する病理学」「死亡時画像診断（AI）に関する法医学」「死亡時画像診断（AI）における画像診断」「死亡時画像診断（AI）におけるCTの基礎」「死亡時画像診断（AI）におけるMRI」「検案時における死亡時画像診断（AI）の活用」「死亡時画像診断（AI）におけるチェックシートの使い方」他
◆問い合わせ先：日医医事法・医療安全課（☎03-3942-6484（直））

◆「死亡時画像診断（AI）における基本事項」「死亡時画像診断（AI）における法令・倫理」「死亡時画像診断（AI）における医療安全対策・感染対策」「死亡時画像診断（AI）に関する救急医学」「死亡時画像診断（AI）に関する病理学」「死亡時画像診断（AI）に関する法医学」「死亡時画像診断（AI）における画像診断」「死亡時画像診断（AI）におけるCTの基礎」「死亡時画像診断（AI）におけるMRI」「検案時における死亡時画像診断（AI）の活用」「死亡時画像診断（AI）におけるチェックシートの使い方」他
◆問い合わせ先：日医医事法・医療安全課（☎03-3942-6484（直））

◆申込方法：日医認定産業医ホームページ（http://www.med.or.jp/doctor/ssi/）をご覧ください。
◆申込締切：平成31年2月8日（金）。ただし、受付は先着順に行い、定員になり次第締め切る。
◆主な講習内容：「ストレスチェック後の産業医としての対応（面接指導）」

◆「転倒予防に役立つからだの使い方と作り方」
◆問い合わせ先：日医健康医療第一課（☎03-3942-6138（直））
◆なお、本研修会を受講すると生涯研修（実地：4単位）が取得できる。
◆転倒予防の測定と簡単な運動をするので、動きやすい服装でご参加下さい。

◆「転倒予防に役立つからだの使い方と作り方」
◆問い合わせ先：日医健康医療第一課（☎03-3942-6138（直））
◆なお、本研修会を受講すると生涯研修（実地：4単位）が取得できる。
◆転倒予防の測定と簡単な運動をするので、動きやすい服装でご参加下さい。

◆「転倒予防に役立つからだの使い方と作り方」
◆問い合わせ先：日医健康医療第一課（☎03-3942-6138（直））
◆なお、本研修会を受講すると生涯研修（実地：4単位）が取得できる。
◆転倒予防の測定と簡単な運動をするので、動きやすい服装でご参加下さい。

		大ホール	スカイホール
2日	I	<input type="checkbox"/> オンライン診療の現状と将来展望	<input type="checkbox"/> 事務局セッション
	II	<input type="checkbox"/> シンポジウム「医療分野のAIとIoT」	<input type="checkbox"/> 事例報告セッション
3日	III	<input type="checkbox"/> 日医ICT戦略セッション	<input type="checkbox"/> サイボグ型ロボット「HAL」について
	IV	<input type="checkbox"/> 全国保健医療情報ネットワークについて	<input type="checkbox"/> 医師資格証の利用について

◆「転倒予防に役立つからだの使い方と作り方」
◆問い合わせ先：日医健康医療第一課（☎03-3942-6138（直））
◆なお、本研修会を受講すると生涯研修（実地：4単位）が取得できる。
◆転倒予防の測定と簡単な運動をするので、動きやすい服装でご参加下さい。

◆「転倒予防に役立つからだの使い方と作り方」
◆問い合わせ先：日医健康医療第一課（☎03-3942-6138（直））
◆なお、本研修会を受講すると生涯研修（実地：4単位）が取得できる。
◆転倒予防の測定と簡単な運動をするので、動きやすい服装でご参加下さい。

◆「転倒予防に役立つからだの使い方と作り方」
◆問い合わせ先：日医健康医療第一課（☎03-3942-6138（直））
◆なお、本研修会を受講すると生涯研修（実地：4単位）が取得できる。
◆転倒予防の測定と簡単な運動をするので、動きやすい服装でご参加下さい。

◆「転倒予防に役立つからだの使い方と作り方」
◆問い合わせ先：日医健康医療第一課（☎03-3942-6138（直））
◆なお、本研修会を受講すると生涯研修（実地：4単位）が取得できる。
◆転倒予防の測定と簡単な運動をするので、動きやすい服装でご参加下さい。

◆「転倒予防に役立つからだの使い方と作り方」
◆問い合わせ先：日医健康医療第一課（☎03-3942-6138（直））
◆なお、本研修会を受講すると生涯研修（実地：4単位）が取得できる。
◆転倒予防の測定と簡単な運動をするので、動きやすい服装でご参加下さい。

◆「転倒予防に役立つからだの使い方と作り方」
◆問い合わせ先：日医健康医療第一課（☎03-3942-6138（直））
◆なお、本研修会を受講すると生涯研修（実地：4単位）が取得できる。
◆転倒予防の測定と簡単な運動をするので、動きやすい服装でご参加下さい。

◆「転倒予防に役立つからだの使い方と作り方」
◆問い合わせ先：日医健康医療第一課（☎03-3942-6138（直））
◆なお、本研修会を受講すると生涯研修（実地：4単位）が取得できる。
◆転倒予防の測定と簡単な運動をするので、動きやすい服装でご参加下さい。

平成30年度日本医師会認定産業医制度生涯研修会

◆主催：日医
◆日時：平成31年2月16日（土）午後1時30分～6時10分
◆会場：日医会館3階小講堂

◆受講者資格：日医認定産業医
◆参加人数：150名
◆受講料：会員1000円（税込）、非会員1500円（税込）

◆日時：平成31年3月2日（土）午後2時～3時
◆会場：「協議会」文京シビックセンター内大ホール

◆「転倒予防に役立つからだの使い方と作り方」
◆問い合わせ先：日医健康医療第一課（☎03-3942-6138（直））
◆なお、本研修会を受講すると生涯研修（実地：4単位）が取得できる。
◆転倒予防の測定と簡単な運動をするので、動きやすい服装でご参加下さい。

◆「転倒予防に役立つからだの使い方と作り方」
◆問い合わせ先：日医健康医療第一課（☎03-3942-6138（直））
◆なお、本研修会を受講すると生涯研修（実地：4単位）が取得できる。
◆転倒予防の測定と簡単な運動をするので、動きやすい服装でご参加下さい。

◆「転倒予防に役立つからだの使い方と作り方」
◆問い合わせ先：日医健康医療第一課（☎03-3942-6138（直））
◆なお、本研修会を受講すると生涯研修（実地：4単位）が取得できる。
◆転倒予防の測定と簡単な運動をするので、動きやすい服装でご参加下さい。

◆「転倒予防に役立つからだの使い方と作り方」
◆問い合わせ先：日医健康医療第一課（☎03-3942-6138（直））
◆なお、本研修会を受講すると生涯研修（実地：4単位）が取得できる。
◆転倒予防の測定と簡単な運動をするので、動きやすい服装でご参加下さい。



日本医師・従業員国民年金基金案内

社会保険料控除証明書を発行

平成30年1月～12月初めに掛金を納付された加入員には、10月（または11月）下旬、社会保険料控除証明書を交付した。証明書には納付状況や受け取り予定年金額も記載されているので、確認をお願いするとともに、年末調整や確定申告の際には忘れずに利用して頂きたい。

また、年金受給者の方の確定申告に必要な源泉徴収票は、平成31年1月中旬ごろ発送予定。国民年金基金の年金は基礎年金と同様に、公的年金等の雑所得として計上される。

問い合わせは、基金事務局（☎0120-0700650）まで。